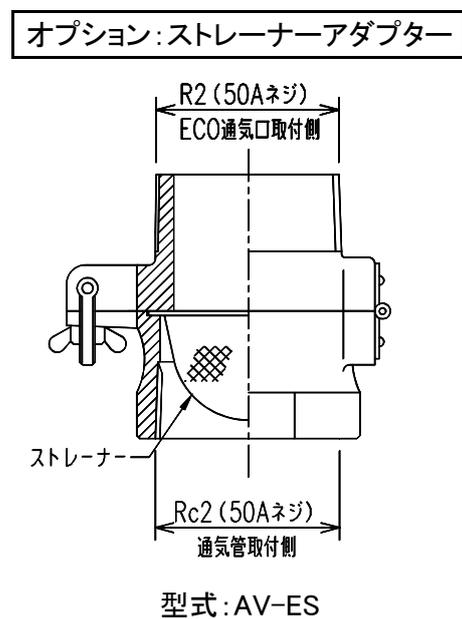
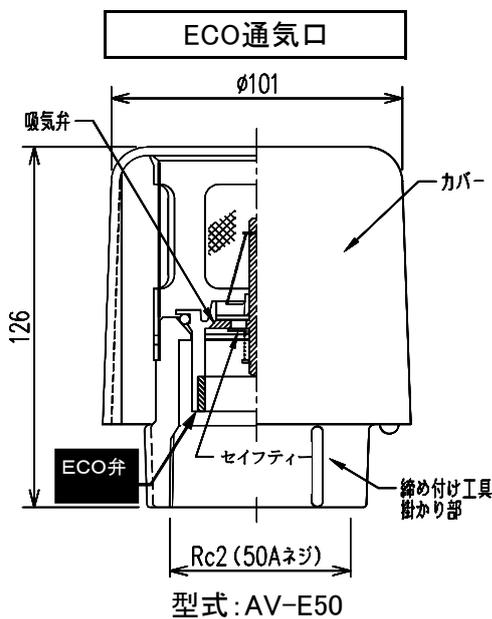


ECO通気口(タンク圧カコントロールバルブ) 取扱・取付説明書

- 通気管への取付前に、本製品の下部から **ECO弁(排気弁)** を軽く押し上げ、スムーズに上下するか確認してください。
 - 本製品を通気管に取り付ける際には、通気管のネジ部にシールテープを巻いた後、必ず左下図の「締め付け工具掛かり部」をパイプレンチ等工具を用いて締め付けてください。その他の部位では絶対に締め付けしないでください。
 - 本製品はGL(土間)に対して必ず垂直となるよう取り付けてください。※傾いた状態では弁が正常に作動しません。
 - オプションのストレーナーアダプターをご購入頂いている場合は、同アダプターを通気管に取り付けた後、その上にECO通気口を取り付けてください。
 - 本製品の取付ネジ口径は50Aのみとなっています。通気管がその他のサイズの場合はプッシングをねじ込んでから本製品を取り付けてください。
 - 本製品は、荷卸し時のチャタリング現象による排出音を最小限に抑制する静音設計となっておりますが、配管の施工状態等、その他の諸条件により排出音の抑制効果は異なりますのであらかじめご了承ください。
※「チャタリング」とは弁が短時間に開閉を繰り返す現象をいいます。
 - 本製品をサイフォンにて接続されたタンクに取り付けると、それぞれの地下タンク内の液面位に差が生じる場合があります。液面位差を同一にする必要がある場合は最寄りの当社支店・営業所へご相談ください。
- ※ 各ねじ込み部には、必ずシールテープを巻いてください。



⚠ 注意

- 本製品には、タンク内が所定の負圧または加圧状態に達すると弁が開く吸気弁およびECO弁(排気弁)と、万一、吸気弁が作動しなかった場合の安全対策としてセイフティーバルブを設けていますが、設置環境や使用条件ならびに経年変化などによっては、万一の場合、各弁(バルブ)が機能せず、タンク内が負圧または加圧状態となることが想定されます。その場合、タンク本体の破損などによる液体の漏洩や計量機の不具合などの原因となりますので、専門技術者による1年に1回以上の定期的な吸気弁およびECO弁(排気弁)の作動確認、ならびに各弁体へのゴミ等の付着や防火網の目詰まり等がないか点検を実施してください。
- 本製品はGL(土間)に対して必ず垂直に設置してください。傾いた状態での設置は作動不良などの原因となります。
- 本製品ならびにオプション品のストレーナーアダプターの設置高さは、法規上、GL(土間)から4m以上の高さとしてください。
- 本製品はガソリン・軽油・灯油・A重油を対象としております。前記以外の他の液種へのご使用につきましては、最寄りの当社支店・営業所へお問い合わせください。なお、前記以外の他の液種へのご使用の場合、本製品は補償の対象外となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。本製品が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 本製品の故障の発生を考慮して、事故や損害などに対する冗長設計などの安全設計ならびに安全対策をお願いいたします。
- 本製品の使用あるいは不具合に起因もしくは関連する直接的または間接的な損害、その他一切について責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※詳しくは別添の「安全上のご注意」をお読みください。

昭和機器工業株式会社 福岡市博多区博多駅前4丁目33-32 TEL:092-431-5131

SKK 昭和機器工業株式会社